



ピーマンの病気をワクチンで予防



私たちは、インフルエンザなどの病原体から身を守るために、ワクチンを接種し免疫力をつけることができます。

一方、植物は動物とは異なり免疫細胞を持っていませんが、あるウイルスに感染すると、類似のウイルスに

感染しなくなるという現象があります。その仕組みはまだはっきりとは解明されていませんが、この現象を利用して植物のためのワクチンを作ることが可能です。今回は、最近開発された植物ウイルスワクチンを紹介します。

◆ピーマンモザイク病

ピーマンには、ピーマンモザイク病という特有



の病気があります。ピーマンがこの病気にかかると、果実が奇形し、収量が低下します。ピーマンモザイク病は、日本各地に大きな被害をもたらしています。

これまで、ピーマンモザイク病対策として、臭化メチル剤という薬剤を使った土壌消毒が広く行われてきました。しかし、臭化メチル剤はオゾン層を破壊することが

ら禁止となったため、代替りの対策技術が求められています。

◆開発されたワクチンの効果

このワクチンは、病原ウイルスを高温処理することによって毒性を弱めたもので、これをピーマンの苗に接種

(葉の表面にワクチンを塗ります) しておく、高い予防効果が得られます。

また、このワクチンはピーマンの収量や品質に悪影響を及ぼさなければ、接種によって、ピーマンのビタミンC含量が約1.4倍高まることも確認されています。

現在、このワクチンは販売されています。

